

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年9月18日（火）

NO. 893号

本号3頁

市民連合が街頭宣伝 改憲阻止・沖縄知事選勝利

市民連合（安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合）は13日、新宿駅東南口の広場で、「0913 当たり前の政治を取り戻す街頭宣伝」を行いました。

主催者あいさつで、山口二郎氏（法政大学教授）は、各地で災害が発生しているもて、自民党総裁選では改憲を主張し、外遊に出ている安倍首相を批判し、「こんな総理に、あと3年も政治を任せてはならない」と訴え、さらに沖縄県知事選で「玉城デニーさん勝利のために力を尽くしたい」と表明し、秋の国会や来年の参院選へ向けて「市民と野党の共闘の機運を、さらに高めていきたい」と述べました。

総かがり行動実行委員会の菱山南帆子さん、憲法学者の清水政彦さん（日本体育大学教授）の沖縄知事選勝利に向けた訴え、9条改憲阻止に向けたたたかひの呼びかけ等のスピーチの後に、野党各党の代表が訴えました。



初めに登場したのが、国民民主党の幹事長に選出されたばかりの平野博文衆院議員。この間、市民連合のつどいや街宣等に参加せず、市民連合と距離を置いてきた国民民主党が、11日の新執行部の発足を機に連携強化に踏み出したようです。平野氏は、「国民民主党が市民連合の皆さんとお互いの立場を尊重しながら倒すのは安倍政権だ」と訴えました。そして、野党議員らと一緒に「安倍内閣は退陣を」と書かれたプラカードを掲げました。

その後、立憲民主党の海江田万里衆院議員、日本共産党の吉良よし子参院議員、自由党の野沢哲夫東京1区総支部長、先日国民民主党から離れた無所属の柚木道義衆院議員がスピーチしました。

吉良氏は「安倍政権にこれ以上政治を任せられない」と訴え、故翁長知事の信念を貫いた基地建設反対のたたかひを振り返り、「玉城デニー氏勝利に全力を挙げよう」、「力を合わせて政治を変えよう」と訴えました。

最後に、精神科医の香山リカさんが出身地北海道の震災の様子を語り、国の抜本的な被災地支援の必要性を訴えました。

たくさんの人々で賑わう新宿駅東南口での宣伝行動でしたが、若い人や外国人らが盛んにスマホ等で写真を撮り、中には手を振る青年の姿もありました。

辺野古新基地建設争点に与野党対決

沖縄県知事選 「オール沖縄」のデニー氏届け出

翁長雄志知事の死去に伴う沖縄県知事選が13日告示され、新人4氏が届け出ました。米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設の是非を争点に、与野党が激しく対決する事実上の一騎打ちの構図です。結果は政府の移設計画や、今後の日米関係に影響を与えます。

立候補を届け出たのはいずれも無所属で、移設を進める安倍政権が推す前宜野湾市長佐喜真淳氏＝自民、公明、維新、希望推薦＝と、反対を訴える自由党前衆院議員玉城デニー氏ら4氏です。

大激戦の様相の中、「オール沖縄」の大同団結で勝利をめざすデニー氏は12日、豊見城市、那覇市などで力強く訴えました。デニー氏は「あらゆる手法を駆使して、辺野古新基地は造らせない」との立場を明確にし、普天間基地の早期返還や日米地位協定の抜本改定、基地と引き換えでない沖縄振興などの実現を強調しました。これに対し佐喜真氏の陣営は、街頭や討論会では新基地への立場を語らず争点隠しに徹しながら、水面下で国家権力を総動員した組織戦を先行させ、県政奪還に必死となっています。名護市長選挙・新潟県知事選挙等での選挙戦と同様の争点隠し・業種こどの上からの締め付け作戦でしょうか。



デニー氏は豊見城市で、10月の同市長選で「オール沖縄」の新人候補として出馬する山川ひとし氏らとともに街頭演説。地域振興に関して「わけても子どもの貧困は深刻だ」と強調。「子どもたちが健やかに伸びる将来をつくるため、子育て世代の包括支援センターを全市町村に設置する」「県民の誰一人として取り残さない優しい沖縄をつくっていききたい」と述べ、拍手と指笛が飛び交いました。

那覇市では女性総決起集会が開かれ、万雷の拍手で迎えられたデニー候補は「子ども、女性、若い世代が未来に向かって育んでいる命と時間を未来まで受け渡していこう。一人も取り残さず、見捨てない。全ての人が輝く未来を一緒につくっていきましょう」と訴えました。

14日、南北共同連絡事務所の開所式

第2回目の米朝首脳会談が今年中に開催される見通しとの報道が相次いでいます。そのような中、韓国統一省は12日、北朝鮮南西部の開城で14日、南北共同連絡事務所の開所式が行われると発表しました。

報道官によると、「連絡事務所は、南北関係発展や朝鮮半島の軍事的緊張緩和、平和定着に向け、意思疎通のチャンネルとして機能する」とのこと。「24時間365日の意思疎通により、南北関係を安定的に管理するとともに、米朝の非核化協議推進にも役立つと期待する」とも述べています。

連絡事務所では週1回の定例会議を行うほか、随時会談し、懸案を話し合います。

開所式に韓国の趙明均統一相、北朝鮮の祖国平和統一委員会の李善権委員長らが出席する予定です。両社は南北閣僚会談の首席代表です。

連絡事務所の勧告側所長には、統一省の千海成次官が任命される予定です。北朝鮮側は「祖平統の副委員長が兼任する」と伝えてきたといいます。3人の副委員長のうち1人が務めるとみられます。

各地のとらきみ

和歌山 3000万人署名、道行く市民が次々と署名

「憲法九条を守るわかやま県民の会」と「安倍9条改憲NO!『3000人署名』和歌山市民アクション」は9日、JR和歌山駅前でも3000万人署名への協力を訴えました。

日本共産党からは前久参院和歌山選挙区候補や奥村規子県議らが参加。次々とマイクを握った参加者は、安倍晋三首相が臨時国会に改憲発議しようとしていると指摘。安倍9条改憲が、海外への無制限な武力行使に道を開くもので、核兵器禁止条約や南北首脳会談、米朝首脳会談など平和へとすすむ世界の流れに逆行する戦争する国づくりだと訴えました。道行く市民が次々と署名に応じました。

同行動には29団体から58人が参加。9人が訴え、署名85人分が寄せられました。

富山 安倍改憲にとどめを！ 市民アクションとやまが集会

安倍9条改憲NO!市民アクションとやまは9日、富山市内で「やりぬこう!3000万人署名、9.9県民集会」を開催しました。75人が参加し、安倍改憲の野望にとどめを刺そうと署名運動を交流しました。

土井由三共同代表が「安倍首相は次の国会に改憲案を提出するといっている。3000万人署名、沖縄県知事選の勝利で阻止を」とあいさつ、水谷敏彦弁護士が「国内外の政治情勢と改憲論」と題して講演しました。

水谷氏は、安倍首相が新たに巻き込もうとしている自衛隊は、専守防衛ではなく海外に出て米軍と一緒に軍事行動する部隊だと指摘。自衛隊合憲という人なども共同を広げ、安倍首相らの「自衛隊かわいそう」キャンペーンに反撃していくことだと強調しました。

討論では、「教え子を戦場に送るなど署名簿を郵送し、地域配布している。今日も砺波で雨の中600枚配布してきた。組合員は職場で全員から署名をもらおうと取り組んでいる」（高教組）、「今日までに1万3912人の署名を集めた。紙芝居のパネルを署名と一緒に並べ、戦争に対する思いを書いて患者の目につく場所に掲示した。職員が学習して声をかけると、みんな快く署名してくれた」（医療生協）などの発言が相次ぎました。

集会は最後に「安倍9条改憲阻止へ、署名目標の達成、沖縄県知事選連帯支援を」のアピールを採択しました。総がかり行動実行委員会共同代表の高田健氏、元文部科学省事務次官の前川喜平氏、早稲田大学教授の水島朝穂氏からメッセージが寄せられました。

三重 シール投票「憲法に自衛隊を書きこむ事」に反対16、賛成3

三重県の「秘密法と共謀罪に反対する鈴鹿市民の会」は6日、鈴鹿市の近鉄白子駅前で、3000万人署名、シール投票に取り組みました。17人が参加しました。

シール投票は、「憲法に自衛隊を書きこむ事」に反対16、賛成3で、学生が多く協力しました。

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が呼びかけた全国一斉行動に応えた取り組みです。

市民の会の山本あけみ代表が、「安倍9条改憲を許せば、災害や復興支援の自衛隊から、海外で戦争する自衛隊になってしまう。福祉や教育を大事にして平和な国にするためにも、安倍9条改憲にノーの声を上げよう」と訴え、署名への協力を呼びかけました。

署名した女性(55)は「子どもが男の子なので、戦争にいかないように署名する」と語りました。男性(22)は「9条は絶対守らなあかん。9条を壊す安倍さんには交代してほしい」と署名。自衛隊に努めていた男性(65)も署名しました。

長野 上伊那原水協らが3000万人署名の街頭宣伝

長野県伊那市で9日、「安倍改憲NO！」3000万人署名の街頭宣伝行動がありました。上伊那原水協と、毎年青年らを原水爆禁止世界大会に送る活動を続けている「Go For Peace上伊那」が呼びかけたもの。伊那市各地の9条の会などからも含め、12人が参加しました。

手作りプラスターで「3000万人署名」を訴えました。「戦争する国にさせないための署名です」「憲法9条を変えるなどという署名です」と、買い物を終えた市民らに声かけ。若い人から年配者まで幅広い世代がこころよく署名に応じ、50人を超える署名が集まりました。

行動を呼びかけた上伊那原水協の馬場さんは「今年も原水爆禁止世界大会で被爆者の話を聞きました。核兵器禁止条約を拒否し、戦争する国づくりにつき進む安倍政権の9条改悪は許せません」と語りました。

さよなら原発全国集会で憲法会議の書籍販売！

17日に「さよなら原発全国集会」が代々木公園で開催され、全国から8000人が参加しました。参加者は「さよなら原発、さよなら安倍政権！」と声を上げ、集会後都内をデモ行進しました。

憲法会議は共同のテントで、「憲法パンフレット」「憲法ポスター」「憲法講座のDVD」そして、川村俊夫代表幹事の著書販売しました。「あっ、これ読みたかったんだ」と憲法パンフレットを購入した青年、「これを掲げて街頭で署名を呼びかけたらと思っていた」とポスターを5枚購入した50代男性などなど。

この日、パンフが42冊、ポスター13枚、DVD5枚等を販売できました。そして、たくさんの方と「安倍改憲を阻止しなければ」と対話できました。

